

行政予算に頼らない
官民連携の形を実現!

2019年度 こおりやま広域圏連携事業

社会起業家加速化 支援プログラム

～地域イノベーションラボこおりやま～

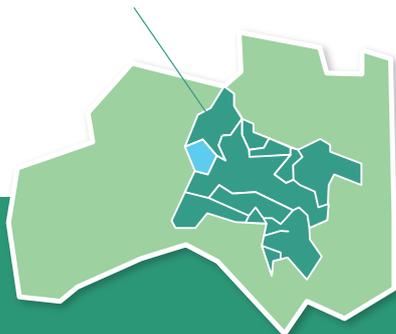
成果報告冊子

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



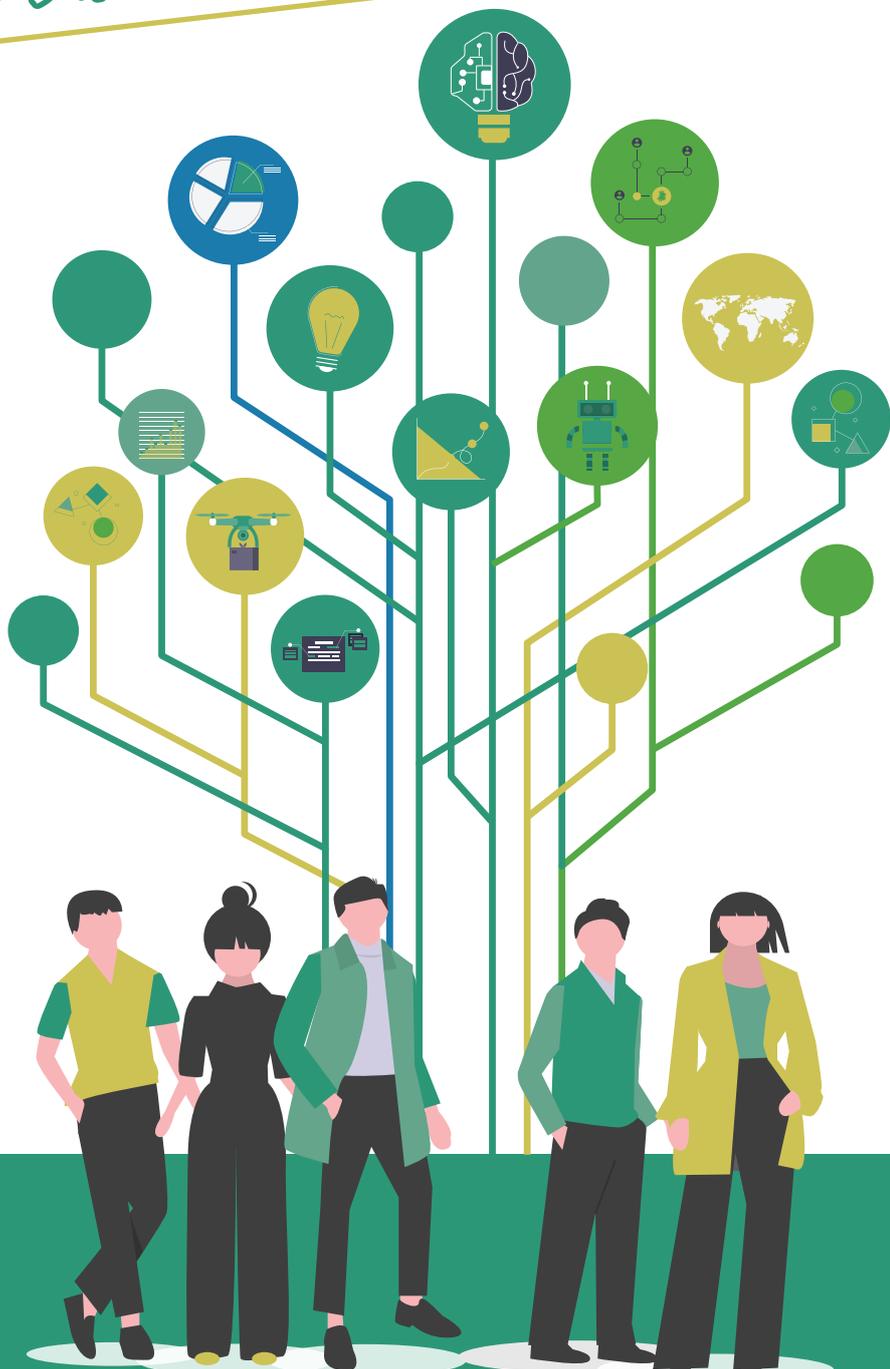
● こおりやま広域圏の構成市町村

郡山市・須賀川市・田村市・本宮市・大玉村・
鏡石町・天栄村・猪苗代町・石川町・玉川村・
平田村・浅川町・古殿町・三春町・小野町



主催者・郡山市

受託者・株式会社 MAKOTO WILL



行政予算に頼らない
官民連携の形を実現!

2019年度 こおりやま広域圏連携事業

社会起業家加速化 支援プログラム

～地域イノベーションラボこおりやま～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本プログラム 地域イノベーションラボこおりやまは、こおりやま広域圏の地域課題を官民連携で解決するプロジェクトです。「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成につながる地域課題を提示し、その解決アイデアを持った企業を全国から募集、選考の上、採択企業を決定しました。

採択後、連携する自治体は、信用や繋がりを提供することで、民間企業がビジネスとして事業拡大することを伴走型で支援しました。2019年度は6社が採択され、課題解決に奔走しました。

今回、その取り組み・成果をまとめた冊子を作成しました。

本事業への参加を希望する自治体・企業の方は、WEBサイトより気軽にご連絡ください。



WEBサイト
はこちら

プロジェクトの流れ

- 1 こおりやま広域圏の各自治体に地域課題のヒアリング
- 2 課題をブラッシュアップするワークショップの開催
※より多くの解決策が提案されるよう、課題を具体的にしたり、見せ方を変えたりします
- 3 WEBサイト等で課題を広く周知。解決策を持つ企業・起業家を募る
- 4 書類選考、面接選考→採択企業の決定・自治体とのマッチング
- 5 採択企業、担当自治体、事務局でキックオフミーティング
※期間中の目標設定、役割分担の確認を行います
- 6 実働期間
※事務局が事業進捗を随時サポート



受託者代表からのメッセージ

地方には未解決の課題が数多くあります。

課題の解決のためには、自治体だけではなく、新たな発想を持ったベンチャー企業や起業家の力が必要です。一方で、首都圏を中心とした他地域のベンチャー企業や起業家からすると、「人脈・土地勘のなさ」から、地方に進出しづらいのも事実です。

そこで本事業では、地域課題の解決策を持った企業・起業家と人脈や信用の面でサポートできる自治体をマッチングすることで、企業・起業家が地方進出・事業展開しやすいように工夫をしました。

一番のネックは、忙しい自治体職員の方がどこまで事業に参画できるかという点でした。

その点は、

- 所属部署のミッションと解決すべき地域課題をつなげること
- 面接、キックオフミーティングにおいて企業側と職員側の役割分担を明確にすること

で、大きな問題がなく事業が進捗した様に思います。

何よりも熱量の高い企業・起業家の方、職員の方に集まっていたので、非常に双方の満足度が高い(参加者の平均満足度10点満点中8点)プログラムになりました。

とは言え、地域課題が解決されたというところまでは、まだまだ道半ばですので、これからも継続して、取り組みを進めていきたいと思っています。

株式会社MAKOTO
代表取締役
竹井 智宏 講評





一般社団法人
葛力創造舎
葛力ブランド事業 企画チーム [郡山市]



WEBサイト
QRコード



街歩きをした編集部メンバー

連携自治体 郡山市 政策開発課

① 地域課題

人口減少や
移住者増加に向けた
諸課題



連携
パートナー 一般社団法人
Blue Bird

取組内容

魅力ある地域のプレーヤーを主役にしたWEBメディアの構築。移住者や観光客の増加を狙いました。郡山市は取材先の紹介等を行いました。

主な成果

WEBメディア「real local 郡山」に
今回の取材記事を掲載予定

自治体担当者の声

学生たちが一生懸命自分の街を見つめ直し、歩いて良いところを探してくれ、その素直な気持ちが刺激と発見に繋がりました。



主査 橋本 真寿

採択企業の声

良かった点は、2つあります。1点目は、行政の方からの人の紹介や郡山市のイベント情報などを得られたところ。2点目は、本プログラムに参画されていらっしゃる起業家達と繋がりを持てた点です。



齋藤 郁也

取材件数

6名

- ・開成山大神宮 氏子青年会 太鼓部さん
- ・開成山大神宮 宮司 宮本孝さん
- ・キャプテンマザー シップさん (古着屋)
- ・わたなべ洋傘店さん (傘職人 傘販売店)
- ・ミズノエリカさん (フードクリエイター フリーランス)
- ・金継ぎ師 佐藤倫さん

● 来期実施事項

移住者や観光客増加を目指し、更に取材を進め、ローカルプレーヤーに着目した記事を増やします。



一般社団法人
ご当地レトルトカレー協会 [東京都]



WEBサイト
QRコード



鯉カレーの試作品

連携自治体 郡山市 園芸畜産振興課

① 地域課題

地域食材の
販路開拓



取組内容

レトルトカレー開発の専門企業。郡山市の名産である鯉を材料に、レトルトカレーを開発しました。郡山市は鯉の養殖業者との交渉をサポートしました。

主な成果

レトルトカレーの試作が完了。
販売開始に向けた戦略策定中!

自治体担当者の声

幅広い様々な方とお付き合いができ、想いを実現するきっかけになったところが良かったです。



係長 若穂 豊

採択企業の声

自治体のできること、得意なことが分かったので正しいアプローチができたことがよかったです。地方に進出する最初のキッカケが欲しい企業におすすめのプログラムです。



代表理事 猪俣 早苗

マッチング先

有限会社広瀬養鯉場

● 来期実施事項

商品デザインを完成させ、販売を開始します。また、広域圏の他の自治体の名産品をレトルトカレーにする取り組みを進めていきたいです。

イトナブ

株式会社イトナブ [石巻市]



WEBサイト
QRコード

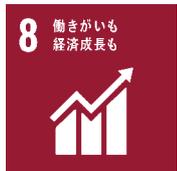


プログラミング教室の様子

連携自治体 郡山市 産業政策課

① 地域課題

IT人材不足



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

イベント
実施回数

5回

イベント
参加人数

福島県内の
高校生、
大学生等

34名

マッチング先

- ・ co-ba koriyama
- ・ コワーキングスペースコオリアヤマ
- ・ 福島コトひらく
- ・ 協賛企業6社

取組内容

企業協賛を獲得し、高校生・大学生向けに無料でプログラミング教室を提供。郡山市は学校への告知をサポートしました。

自治体担当者の声

下記4点が良かった。

- ① 市内外のベンチャー企業等と連携して事業に取り組める
- ② 委託や補助金を予算化する必要がない
- ③ ベンチャー企業や他の自治体職員とのネットワークができる
- ④ 本事業の枠組みが新しい取り組みであるため注目されている



係長
深谷 大一朗

主な成果

延べ30名以上の学生の
プログラミング教室への参加

採択企業の声

行政の方と協力してプロジェクトを進めて行けたところはとても良かったですし、行政の方々も含めて感謝の気持ちでいっぱいです。また、会場も無償でお借りできたことなども良かったです。



ディレクター
加藤 奨人

● 来期実施事項

引き続きプログラミング教室を開講します。
広域圏からの参加者をもっと増やしたいと考えています。



株式会社 GIRLS LIFE LABO [相馬市]



WEBサイト
QRコード



住民を巻き込んだ
商品開発会議の様子

連携自治体 須賀川市 商工労政課

① 地域課題

女性が自身の
能力を活かして稼げる
環境作り



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

イベント
実施回数

3回

イベント
参加人数

32名

取組内容

須賀川市の文化、伝統、素材などを活用した女性目線での商品開発をしました。須賀川市は、商品開発会議の集客をサポートしました。

自治体担当者の声

通常であればつながらない事業者とマッチングできた点が非常に良かったです。



主任 有馬 毅

主な成果

須賀川市の素材を活用した
新商品を開発！

採択企業の声

普段なかなか濃い繋がりをつくれな行政の職員さんと繋がりがつくれました。
新たに商品開発をするきっかけになりました。



小野 美乃

● 来期実施事項

アクセサリー商品の試作を重ね、販売開始をします。
また、広域圏の他の自治体の素材を商品化する取り組みを進めて行きたいです。



Carstay 株式会社 [東京都]

連携自治体 田村市 観光交流課



WEBサイト
QRコード



キャンピングカー利用者と、
土地・駐車場の所有者の
マッチングサービスを展開

① 地域課題

観光入込客数の増加
(二次交通課題の解消)



マッチング先

- 一般財団法人田村市滝根観光振興公社
- 株式会社大野企画
- 株式会社田村市常葉振興公社
- 聖石温泉
- グリーンパーク都路
- 株式会社エフライフ
- 一般社団法人ブルーバード
- 株式会社孫の手

取組内容

車中泊旅行者（キャンピングカー等利用者）と、駐車場のマッチングサービスを展開。広域圏に登録駐車場が増えると、より多くの観光客を呼び込むことが期待できます。田村市は、駐車場提供先の候補となる観光施設等を紹介しました。

自治体担当者の声

企業様には、車中泊の場所提供マッチング、キャンピングカーのシェアリング、観光情報の発信等のサービスをご提供いただきました。二次交通対策の新たな手法が生まれたこと、当局を知っていただけるあらたな機会が生じたこと、観光での滞在時間の向上が見込まれることが成果となると思います。ベンチャー企業と事業計画を協議するなかで、起業家マインドにふれ刺激となりました。



係長
本田 啓介

主な成果

広域圏内の1社と連携が決定！
その他5社程度と調整を進めています。

採択企業の声

自治体の活動的かつ
起業家へ理解のある
職員様との協業がで
き、短期成果を目指
しやすいため非常に
満足しています。



取締役 CEO
岩本 舜夫

● 来期実施事項

更に地域を広げ、Carstayの取り組みを広め、
広域圏の観光客の誘客に繋げたいと考えています。



株式会社 福島情報処理センター [郡山市]

連携自治体 三春町 産業課



WEBサイト
QRコード



実証実験をしたイベント
「三春たるま市」

① 地域課題

観光と商店街
活性化



イベント
実施回数

1 回

イベント
参加人数

700 名

アンケート
回答数

42 名

取組内容

LINE ビーコンを活用し、「イベント参加者がどこの誰なのか」「イベント参加者が他にどの様な観光施設を巡ったか」等のデータを取得・提供するサービスを開発中です。今後、観光客を呼び込むための施策立案に役立つことが期待できます。三春町はイベントの紹介とデータ取得のサポートを行いました。

自治体担当者の声

広域として実施することで、課題に対して、さまざまなアイデアを広く募集できる点がよかったです。また、今回採択した福島情報処理センターのサービスは、LINEを使用するという点で新たにアプリをインストールせずに実施できる点が非常に良かったです。



主任主査
大見 友和

主な成果

700名ほどが参加したイベントにて、
実証実験を実施！

採択企業の声

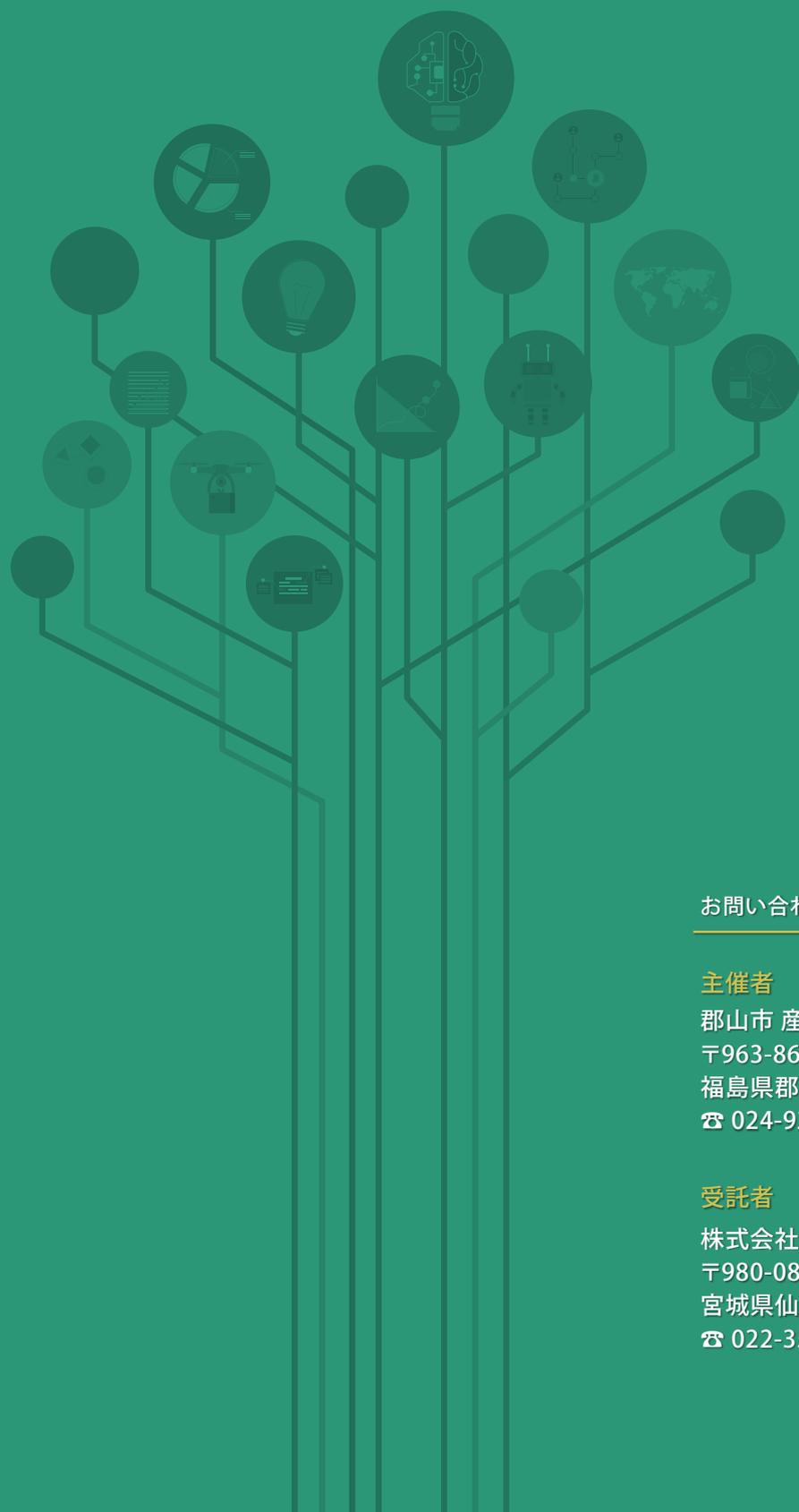
実証の機会を得ることが
できました。
また、広域圏の課題に
対して理解が進みまし
た。



経営企画部
大久保 仁

● 来期実施事項

複数のイベントで実証実験を進め、
広域圏の観光誘客につなげたいと思います。



お問い合わせ先

主催者

郡山市 産業観光部 産業政策課
〒963-8601
福島県郡山市朝日一丁目23番7号
☎ 024-924-2251

受託者

株式会社 MAKOTO WILL
〒980-0803
宮城県仙台市青葉区国分町1-4-9 enspace
☎ 022-352-8850 (グループ代表)